

砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

基本目標1 安定した雇用を創出する

数値目標	基準値	目標値	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	平成28年度実績値に対する所見
創業支援事業に基づく新規創業件数	0件(平成26年)	5件(5年間)	目標値	0	1	1	1	2	創業支援事業計画の認定を受け、関係団体の連携により4件の創業が実現した。今後とも体制整備を図り、関係団体が連携して創業希望者を支援する。
			実績値	0	4				
新たな雇用者数	0人(平成26年)	38人(平成31年)	目標値	—	—	—	—	38	内訳 看護学生修学資金貸与事業:0人(旧制度の実績は8人)、介護人材育成支援事業:0人、雇用創出事業:0人 看護学生修学資金貸与事業は、平成28年度より実施のため、28年度の実績はない。 介護人材育成支援事業は、介護人材の育成・確保を目的に社会福祉法人に対し職員の資格取得費用を助成。実績値は対象者が有資格者及び高校支援事業を活用されていた(3名分)ため、この事業による実績はなかった。 雇用創出事業は、助成対象となる施設の新設等がなく、雇用の助成が生じなかった。
			実績値	5	0				

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	平成28年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(1) 産業の競争力強化								
1) 農作物のブランド化の推進								
クリーン農業推進事業	特裁米等の作付農家数 ／5戸(平成26年)→20戸(平成31年)	目標値	—	—	—	—	20	特別栽培米の作付農家が平成27年度の6戸から11戸へ増加。今後も、当該補助制度を農業者へ周知し、特裁米作付農家の増加を図る。
		実績値	—	11				
2) 6次産業化の取り組みの推進								
農業6次産業化整備促進事業	6次産業実施農家数 ／2戸(平成26年)→5戸(平成31年)	目標値	—	—	—	—	5	農業者に国、道の補助事業等の情報提供を行うとともに、関係機関との連携を強化し、6次産業化の促進を図る。
		実績値	2	4				
3) 商工業振興策の実施								
商店街空き店舗対策事業	空き店舗解消数 ／5件(5年間)	目標値	1	1	1	1	1	新規創業が4件あったことと店舗の建て替えが2件あったため。今後も本条例の周知の他、創業支援事業計画とも連動させ新規創業を促進する。
		実績値	4	6				
創業支援事業	創業支援事業に基づく新規創業件数 ／5件(5年間)	目標値	0	1	1	1	2	創業支援事業計画の認定を受け、関係団体の連携により4件の創業が実現した。平成29年度には商工会議所による創業支援セミナーが開催される予定であり、今後とも体制整備を図り、関係団体が連携して創業希望者を支援する。
		実績値	0	4				
(2) 人材育成、雇用対策								
1) 農業の担い手の確保・育成								
担い手育成支援事業	基盤整備を実施し経営の効率化を図った面積 ／15ha(5年間)	目標値	0	0	5	5	5	平成29年度より国の補助要件が変更になり、農家にとって使いにくい補助となった。今後、新たな補助メニューについて検討が必要である。
		実績値	11.58	7.61				
農作業受託組織支援事業	農作業受託面積 ／280ha(平成26年)→320ha(平成31年)	目標値	—	—	—	—	320	農業の担い手への農地の貸借が進んだため、平成28年度の実績値は261haとなった。平成29年度は、補助金2,000千円を予算計上し組織の支援を実施する。
		実績値	295	261				
農業後継者Uターン支援事業	市内移住した農業後継者数 ／2人(5年間)	目標値	0	0	0	1	1	農業後継者(農家の子息等)の情報収集を進めるとともに、支援方法の検討をする。
		実績値	1	0				
2) 医療従事者の確保・育成								
看護学生修学資金貸与事業	砂川市立病院への就業者数 ／30人(平成31年)	目標値	—	—	—	—	30	返還免除規定のある新制度は、平成28年度より実施のため、平成28年度の実績はない。(旧制度の実績は8人)
		実績値	—	—				
3) 介護従事者の確保・育成								
介護人材育成支援事業	介護資格取得者数 ／15人(5年間)	目標値	3	3	3	3	3	平成28年度の当該法人における採用者は、有資格の社会人と砂川高校卒業者のみであり、砂川高校卒業の採用者3名は教育委員会が所管する砂川高校支援事業の介護職初任者研修補助金をすでに活用したことにより、本補助金は活用されなかった。しかし、介護サービスの質の向上と人材育成・確保に向けた当該法人による積極的な取り組みにつながっていることから今後も継続し介護人材の安定確保に努める。
		実績値	5	0				
4) 企業立地等の促進による就労の拡大								
雇用創出事業 (企業振興促進対策事業)	施設新設等を行なった企業の新規雇用者数 ／25人(5年間)	目標値	5	5	5	5	5	企業訪問を行い補助事業の周知や雇用創出事業を実施してきたが、助成の対象となる施設の新設等がなく、雇用の助成が生じなかった。次年度も、雇用創出事業を実施するため、補助事業の周知や専門家の派遣などを行い雇用創出に繋げていく。
		実績値	0	0				
5) ICTを活用した子どもの育成								
ICT人材育成事業	ICT人材育成事業参加者数 ／319人(平成26年)→440人(平成31年)	目標値	—	—	—	—	440	育成事業の成果である発表事業を今年度実施したため、101人の増となっている。順調に成果が出ているため、今後も継続して取り組む。
		実績値	425	526				
6) 地元企業と連携したキャリア教育の実施								
ワーク・ライフ・バランスとキャリアデザインの推進による雇用創出事業 (平成28年度:ジョブスタート事業)	地元の参加企業数 ／15社(平成31年)	目標値	—	—	—	—	15	41社の企業を訪問し、聞き取り調査や事業の周知を行い実施した。次年度は、大学生を参加対象に加え、さらに充実した内容で実施する。
		実績値	—	17				

砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

基本目標2 新しいひとの流れをつくる

数値目標	基準値	目標値	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	平成28年度実績値に対する所見
砂川市の転出超過数	205人(平成26年)	150人(平成31年)	目標値	—	—	—	—	150	H26年度と比較すると、H27-28年度いずれも転入者が僅かに増加し、転出者の減少傾向が顕著である。
			実績値	111	57				
観光入込客数	1,329千人(平成26年)	1,342千人(平成31年)	目標値	—	—	—	—	1,342	スマートインターチェンジが開設してから1年以上が経過し、徐々に浸透が図られているが、ハイウェイオアシス館と北海道子どもの国の入込客数が減り、前年度比25千人減少となった。
			実績値	1,234	1,209				

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	平成28年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(1) 移住の推進								
1) 移住定住の促進								
移住定住促進事業	ワンストップ窓口を通しての移住者数 ／6人(5年間)	目標値	0	0	2	2	2	5年間の目標値である6人を達成した。平成19年4月に協議会を立ち上げてからの情報発信やお試し暮らし事業等の効果が表れていると推察される。今後も引き続き、情報発信の強化や相談会の参加等により移住定住の促進及び交流人口の増加を図る。
		実績値	0	6				
農業体験事業	新規就農者数 ／5人(5年間)	目標値	—	0	1	2	2	新規就農者の募集を行うとともに、関係機関との受入体制の強化を図る。
		実績値	—	0				
(2) 観光の活性化等を通じた交流人口の増加								
1) 観光振興の推進								
情報発信による観光振興事業	ホームページアクセス件数 ／254,000件(平成26年)→354,000件(平成31年)	目標値	—	—	—	—	354,000	昨年度と比較して、話題性の高い出来事が少なく、実績値は減少したものの、11月以降は昨年度と比較して16%以上の伸びが見られる。今後も「すながわスイートロード」「ふるさと納税」など市外からも注目を集めるページを中心に積極的な情報提供を行っていく。また、アクセシビリティ(使いやすさ)の水準を保持するため、制約語句やリンク切れなど基本的な管理も継続して行っていく。
		実績値	318,484	314,737				
市街地回遊誘導事業	まちなか観光施設入込客数 ／247千人(平成26年)→260千人(平成31年)	目標値	—	—	—	—	260,000	スマートインターチェンジが開設してから1年以上経過しているが、当初の見込みより観光客数が伸びなかった。平成29年3月29日にリニューアルしたHP等を活用し、今後ともより幅広い観光PRを行っていく。
		実績値	235,056	220,234				
地域資源を核とした情報発信による観光客誘致事業	ポータルサイト年間アクセス数 ／19,500件(平成31年)	目標値	—	—	—	—	19,500	平成29年3月29日にポータルサイトが開設されたため実績値は3日分のみとなった。今後とも観光協会との連携を図り、HPの更新等を進め、情報発信を充実させる。
		実績値	—	915				
ふるさと名物「すながわスイーツ」を活用した観光振興事業(平成28年度:地域資源活用事業、着地型観光プラットフォーム協議会DMO事業)	まちなか観光施設入込客数 ／247千人(平成26年)→260千人(平成31年)	目標値	—	—	—	—	260,000	平成29年3月29日にポータルサイトが開設された。今後とも観光協会との連携を図り、HPの更新等を進め、情報発信を充実させる。
		実績値	—	220,234				
	観光入込客数 ／1,234千人(平成27年度)→1,342千人(平成31年)[平成29年度新規]	目標値	1,234,000	—	—	—	1,342,000	平成29年度より事業開始
		実績値	—	—				
スイートロード協議会主催事業参加人数 ／1,335人(平成27年)→1,800人(平成31年)[平成29年度新規]	目標値	1,335	—	—	—	1,800	平成29年度より事業開始	
	実績値	—	—					
ふるさと納税返礼品「すながわスイーツ」の数 ／5,000件(5年間) [平成27・28年度:地域資源活用事業]	目標値	800	900	1,000	1,100	1,200	ふるさと納税全体の件数が昨年度より減少しているため実績値が減少しているが、スイートロードの知名度をより向上させ、今後も「ふるさと名物」制度も活用しより幅広いPRを図る。	
	実績値	1,235	874					
DMO加盟団体数 ／10団体(平成31年) [平成27・28年度:着地型観光プラットフォーム協議会DMO事業]	目標値	—	—	—	—	10	研修会等を開催しDMO設立に向けた協議会を立ち上げるため協議を重ねたが、29年度当初からの参加意向は滝川と砂川のみとなり、2市の企業・団体で設立発起人会を開催し29年4月に協議会設立の決定をした。	
	実績値	—	0					
(3) 高等学校の活性化								
1) 地元学校への進学促進								
砂川高校支援事業	砂川高校入学者数 ／100人(平成27年)→160人(平成31年)	目標値	100	—	—	—	160→120	平成28年度は補助による影響が見込まれないため計画値なし。平成28年度における入学者数の減少を踏まえ、平成29年度から支援内容をさらに拡大・拡充して継続し、入学者数の増加を図る。(追加する支援) ・部活動全道大会出場補助
		実績値	100	88				

砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

数値目標	基準値	目標値	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	平成28年度実績値に対する所見
婚姻届出数	71.2件(平成22～26年平均)	400件(5年間)	目標値	80	80	80	80	80	年度によって届出件数にばらつきはあるが、前年度に比べ20%程度増加した。
			実績値	64	77				
合計特殊出生率	1.30(平成20～24年)	1.54程度(平成31年)	目標値	—	—	—	—	1.54	平成28年の出生数は92人で若干増加している。単年での評価は難しいが、27年度と比較すると25～34歳の女性人口が26人増加し、出生数も8人増加している。また、35～44歳では女性人口は48人減少しているにもかかわらず、出生数は6人増加している。
			実績値	1.17	1.20				

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	平成28年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(1) 若い世代の結婚支援								
1) 婚活支援の推進								
すながわ出会い創出支援事業	補助金を利用した婚活事業数 ／2事業(平成27年)→5事業(平成31年)	目標値	2	—	—	—	5	平成31年度までに年間5事業を目標としているが2事業にとどまっている。補助制度が十分知られていないことや、事業の実施を検討する団体は他にもあったが、実現に至らなかった事例もあったことが影響しているものと考えられる。今後、支援制度及び市内団体等が実施する婚活事業について市ホームページ等による情報発信及び事業企画に対する支援の充実を図る。
		実績値	2	2				
(2) 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援								
1) 妊娠・出産への支援の実施								
妊婦健康診査費用助成事業	妊婦健康診査補助券使用件数 ／800件(平成31年)	目標値	800	800	800	800	800	補助券の集計期間が9か月間から12か月となった為、使用件数は増加している。妊婦の実人数は減少傾向にあり目標値達成は難しいところではあるが、妊婦の経済的負担を軽減する為、今後も継続する。
		実績値	498	631				
特定不妊治療費助成事業	助成を受けた者の満足度 ／70%(平成31年)	目標値	70	70	70	70	70	実績値は目標値を上回った。今年度申請者実6名にアンケートを行い、5名から回答を得、4名は大いに満足・満足と回答されていたが、その方々でもさらなる助成拡大を望む声があった。次年度も継続しながら今後の検討課題としていく。
		実績値	85.7	80.0				
妊娠・出産支援事業	支援を受けた妊婦の割合 ／73%(平成26年)→90%(平成31年)	目標値	75	80	85	90	90	妊婦すこやかセミナーの講師確保が困難なため、代替措置として砂川市立病院のマザークラス参加無料クーポンを配布し受講を勧めたが、就労や里帰りで参加ができない等、参加率は30.8%に止まった。助成を継続するとともに、個別支援についても充実を図っていく。乳児全戸訪問は100%の実施率となっている。
		実績値	80.2	79.4				
陣痛タクシー事業	陣痛タクシー利用登録率 ／30%(平成31年)	目標値	30	30	30	30	30	実績値は計画値を上回った。妊娠届出時にパンフレットにより全妊婦に事業周知を図るなど今後も事業の周知を徹底していく。
		実績値	29.9	39.5				
2) 子ども・子育て支援の充実								
病児・病後児保育事業	病児・病後児保育を利用した者の満足度 ／90%(平成31年)	目標値	—	—	—	—	90	10月24日に開設し、登録可能な児童にはすべて手渡しで利用案内するなど周知徹底に努めた。登録数は46人で延べ利用人数は12人であった。対象児童が病児であるため利用の促進とはならないが、今後は登録児童のいる施設訪問や健康教育にも力を入れ、就労している保護者のセーフティネットとして機能するよう環境整備に努めていく。
		実績値	—	—				
市立保育所開放事業	保育所開放事業参加親子組数 ／750組(5年間)	目標値	150	150	150	150	150	今年度も計画値に満たなかった。保護者に行ってみたい、見てみたいと思ってもらえるような体験型の企画を組み合わせながら利用者の増加を図り、地域における保育事業の役割の理解を進める。
		実績値	98	90				
市立保育所一時保育事業	一時保育年間利用児童数 ／427人(平成26年)→900人(平成31年)	目標値	—	—	—	—	900	利用者の減少傾向は続いているが、対象者を1歳に拡大したことで利用者数はわずかに増加し、多様化する子育てのニーズに応えている。待機児童の受け皿の役割も果たしていかねばならないことから、今後は日額料金から4時間単位の短時間料金を設定し、さらに利用者の利便を図る。
		実績値	384	413				
学童保育事業	学童保育所待機児童数 ／0人(平成26年)→0人(平成31年)	目標値	0	—	—	—	0	今年度から各学区で開設したことにより、より安全で安心な環境で保育することができ、待機児童もない。担任教諭と児童の日常の様子などを情報共有したり、放課後子ども教室への参加も増えていることから、今後も学校と連携しながら児童の健全育成を図る。
		実績値	0	0				
3) 子育て世帯の経済的負担の軽減								
多子世帯保育料軽減事業	保育所入所者数 ／205人(平成27年)→225人(平成31年)	目標値	205	—	—	—	225	全体の入所者数は微増だが、今年度の傾向としては0～2歳の低年齢で入所する世帯が例年より多かった。育休を切り上げて早期に復職する世帯が増えているため、今後は待機児童が出ないよう保育士確保対策を早急に進めなければならない。
		実績値	—	209				
幼稚園就園奨励事業	幼稚園在籍率 ／75%(平成26年)→83%(平成31年)	目標値	—	—	—	—	83	【増減理由】通園人数が計画値よりも多かったため【今後の取組】平成29年度より砂川天使幼稚園が「子ども・子育て支援新制度」に基づく私立幼稚園に移行することに伴い、本事業の奨励対象から外れるが、他の幼稚園については継続するため、引き続き、保育所との整合を図りながら保護者の経済的負担の軽減を図っていく。
		実績値	78.1	90.1				
保育料軽減事業	保育所入所者数 ／205人(平成27年)→225人(平成31年)	目標値	205	—	—	—	225	全体の入所者数は微増だが、今年度の傾向としては0～2歳の低年齢で入所する世帯が例年より多かった。育休を切り上げて早期に復職する世帯が増えており、さらに安心して子どもを産み育てられる環境を整備し少子化対策につなげる。
		実績値	208	209				
子育て支援指定ごみ袋配布事業	指定ごみ袋配布枚数 ／189,000枚(5年間)	目標値	39,000	39,000	39,000	36,000	36,000	計画値と実績値の差の主な理由は、平成28年度事業の構築時に見込んでいた出生と転入者の減。未申請世帯については、社会福祉課と連携し、児童手当現況届提出の際に配付する。
		実績値	38,530	36,510				
インフルエンザ任意予防接種費用助成事業	中学生以下の接種率 ／29%(平成26年)→50%(平成31年)	目標値	30	35	40	45	50	昨年度に引き続き自己負担1,000円で実施し、目標値を大きく上回った。今後も継続していく。
		実績値	48.4	49.0				

砂川市まち・ひと・しごと創生総合戦略 数値目標・KPI集計表

基本目標4 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

数値目標	基準値	目標値	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	平成28年度実績値に対する所見
民間住宅助成金交付件数	80件(平成26年)	385件(5年間)	目標値	77	77	77	77	77	持ち家の取得・リフォームに対する支援を行うことで、良質な住宅の確保と安心・安全で快適に暮らせる住環境づくりに寄与している。
			実績値	95	92				
移住定住促進住宅入居率	0%(平成26年)	100%(平成31年)	目標値	—	—	—	—	100	住宅供給4戸に対して全戸入居。4世帯9人の市外からの移住があった。
			実績値	—	100				

施策名・事業名	重要業績評価指標(KPI)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	平成28年度実績値の増減理由及び今後の取り組み
(1) 安心なくらしの確保								
1) 医療等の充実								
中空知医療圏ネットワークシステム構築事業	連携自治体病院数 ／6自治体病院(平成31年)	目標値	6	0	0	0	0	計画値と実績値の増減なし。 平成28年7月に稼働し、平成29年度以降、自治体病院以外の医療機関等との連携及び各自治体での地域包括ケアネットワークシステム構築(連携)を図る。
		実績値	6	0				
砂川市地域包括ケアネットワーク事業(情報共有ネットワーク事業)	共有した情報へのアクセス数 ／5,000 41,000件(5年間)	目標値	1,000	1,000 →10,000	1,000 →10,000	1,000 →10,000	1,000 →10,000	開始から2年半が経過し、徐々に事業の浸透が図られたことにより、情報提供の同意件数が順調に増加している。医療機関や介護事業所等、関係機関によるアクセス数も大幅に増えており、在宅医療・介護連携の推進が図られている。 今後在宅医療・介護の推進を図るため本システムの活用を継続する。
		実績値	469	11,107				
2) 健康維持・増進の推進								
健康管理支援事業	各種健診受診者の割合(合計) ／29%(平成26年)→45%(平成31年)	目標値	34	42	42	45	45	実績値は27年度よりは若干上がったものの、計画値には到達しなかった。これは、国保特定健診の受診率が目標の60%まで到達できなかったことによるもので、今後は治療中のデータ受領の拡大(市外含む)、市内事業所からのデータ受領、訪問による受診勧奨の強化等で受診率向上につなげていく。
		実績値	36.3	36.4				
3) 高齢者等の在宅生活の支援								
屋根雪下ろし等支援事業	屋根雪下ろし等補助金申請件数 ／660件(5年間)	目標値	132	132	132	132	132	需要動向が降雪・積雪等の気候条件による影響から不確定要素もあり、一定程度の予算確保をしていたなか、28年度は少雪となったことにより大幅な減となった。事業は高齢者の冬期間の安心した生活確保と事故防止に効果があつたと判断しており継続実施とする。
		実績値	52	8				
除雪サービス事業	除雪サービス事業利用世帯数 ／375世帯(5年間)	目標値	100	100	59	58	58	記録的な少雪もあり前年度の実績及び当初見込み件数より減少しているが、事業は高齢者の冬期間の安心した生活の確保につながっているため、今後も高齢者の冬期間の在宅支援として継続する。
		実績値	95	92				
4) JR砂川駅のバリアフリー化の検討								
JR砂川駅バリアフリー化の検討	整備されたバリアフリー設備数 ／2箇所(平成31年)	目標値	—	—	—	—	2	計画値と実績値の増減なし。砂川駅バリアフリー化の実現に向けてJRとの協議を進めながら計画案の具体化に向け検討中。
		実績値	0	0				
(2) 空き家の利活用等を推進した住宅ストックの強化								
1) 良質な住宅ストックの確保								
まちなか住まいる等住宅促進助成事業	まちなか住まいる等住宅促進助成金交付件数 ／175件(5年間)	目標値	35	35	35	35	35	申請件数の増加。 持ち家の取得促進と良質な住宅の確保を図り、誰もが安心して快適に暮らせる住環境づくりに寄与するため、事業を継続する。
		実績値	50	43				
永く住まいる住宅改修助成事業	永く住まいる住宅改修助成金交付件数 ／210件(5年間)	目標値	42	42	42	42	42	申請件数増。 リフォーム工事への支援を行い、良質な住宅の確保と安心して快適に暮らせる住環境づくりに寄与するため、事業を継続する。
		実績値	45	49				
住み替え支援事業	住情報の提供延件数 ／20件(5年間)	目標値	0	5	5	5	5	宅建業者との連携による情報収集や空き家所有者への意向調査で情報提供件数が目標値よりも増加した。 住み替え支援協議会の役割を充実させ、より事業の推進を図る。 また、空き家の利活用を促進する事業を図り、空き家対策に寄与する。
		実績値	0	11				
移住定住促進住宅整備事業	移住定住促進住宅入居率 ／100%(平成31年)	目標値	—	—	—	—	100	住宅供給4戸に対して全戸入居した。4世帯9人の方が市外から移住。 現在、新たな戸数の供給予定はないため、次年度以降は管理のみ実施する。
		実績値	—	100				
(3) 広域連携による経済・生活圏の形成								
1) 他の地方公共団体と連携した施策の実施								
砂川版生涯活躍のまち(CCRC)構想の検討	連携自治体数 ／3自治体(平成31年)	目標値	—	—	—	—	3	平成28年度に生涯活躍のまち構想が策定できなかったため、連携した自治体はないが、策定に向けた打ち合わせは滝川市と行った。 引き続き情報交換等を行いながら検討を進める。
		実績値	0	0				
中空知定住自立圏「しごとの魅力発信と総合的な就業・移住支援」事業	ワンストップ窓口を通じての移住者数 ／6人(5年間)	目標値	—	0	2	2	2	目標値を達成することができたが、引き続き情報発信や業務の実施により、更に移住者の拡大に努める。
		実績値	—	6				
(4) 市民が地域づくりの担い手となる環境の確保								
1) 市民が主体的に地域づくりに参画することができる環境・仕組みづくり								